

フードパントリー かんたんマニュアル

◇フードパントリーとは・・・

日本では年間 600 万トンもの食品ロスが出ています。日本人 1 人当たり、年間約 47kg にもなります。一方、「相対的貧困」と言われる世帯は 15% 程度で推移しており、特にひとり親世帯では 5 割が相対的貧困であると推計されています。

今、どこかで余ってしまう食べ物を、必要としている人に届ける活動が広がっています。

フードパントリーは、地域に食品の貯蔵庫を置くようなイメージで、必要な人に無料で食品を提供する仕組みです。

どこかで余っている**食べ物**を



必要な人に

Step I 食べ物を集める

いつ

日にちを決める
期間を決める など

どこで

〔例〕 公民館・コミセンなどを借りる
一時保管できる協力者を募る

だれが

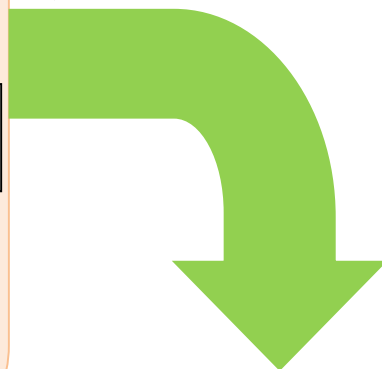
〔例〕 協力してくれる人はどなたでも
地域のお店や農家、家庭菜園などの協力を求める

なにを

冷凍・冷蔵保存ができるかどうかで変わる
〔例〕 日持ちのするもの
賞味期限のあるもの
トイレットペーパーなどの日用品

【周知の方法】

チラシを作成、掲示板や回覧板
で。SNS で発信 など



Step II 食べ物を配る

いつ

〔例〕 いつでも（場所があれば）
「集める」日と同じ日に
期日を決める

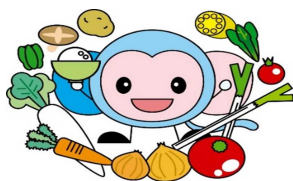
どこで

〔例〕 公民館・コミセンなどを借りる
公園、学校、施設など
地域のお店 など

だれに

〔例〕 どなたでも
子どもがいる家庭
お年寄りや障がいのある方がいる家庭

この仕組に興味を持ってくださる
住民活動を応援します。



和光市社会福祉協議会
すたんど・あっぷ和光
和光市南 1-23-1
048 (452) 7608